

春の叙勲

おめでとーうーげーいませす

4月29日、さまざまな分野で活躍し、社会貢献した人を表彰する「春の叙勲」が内閣府から発表され、継岩亨さん（根雨）が瑞宝単光章を受章しました。

【瑞宝単光章】（消防功労）

元鳥取県日野町消防団副団長

つぎいわ とおる
継岩 亨 さん（根雨）



継岩さんは、昭和52年に日野町消防団に入団され、令和6年3月31日までの間、およそ47年の長きにわたり、職務に精励されました。特に、平成27年4月からは副団長として団長を補佐しながら、消防団活動の充実強化に尽力されました。

地域住民の生命・財産を守るため、火災予防活動はもとより、災害対応、防火啓発、団員育成など幅広い分野において、献身的に取り組まれ、地域防災力の向上に大きく貢献されました。そうした長年の功績が認められ、今回の受章となりました。



元気に育ってね！アユの成長を願い日野川へ

5月29日、黒坂カワコふれあい公園で、ひのっこ保育所の年長児が、アユの稚魚放流（日野町水産振興連合会主催）を行いました。
アユを用意した同会員らが見守る中、元気よく跳ねるアユに「大きくなあれ！」と声をかけながら、約1万匹のアユを次々と日野川に放流していきましました。
最後は、ビニールシートを使ってアユが入ったトラックから直接日野川へ放流。シートの上を元気よく滑るアユに、子どもたちは歓声を上げていました。

「大きくなあれ！」願い込めアユ放流

ひのっこ保育所の園児がアユの稚魚を放流



豊かな実りを願い一本一本丁寧に

5月7日、日野学園5年生9人と日野高校アグリライフ系列2年生の生徒9人が、日野高校黒坂施設で田植え交流を行いました。
児童と日野高校の田植え交流は、10年以上前から続く伝統行事。児童と生徒が交流し一緒に体験することで、お互い学び合い、成長することを目的としています。交流中は、子どもたちの明るく元気な声が響き、天気にも恵まれた田植え日和となりました。
秋には、同じメンバーで稲刈りを実施する予定です。

青空の下、秋の実りを願い田植え体験

日野学園と日野高校の田植え交流



黒坂のまちなかを舞台に広がる交流とにぎわい

黒坂ストリートマルシェ・リノベーション Lab 祭り

5月31日、黒坂のまちなかで、黒坂ストリートマルシェ（黒坂フェスタの会主催）が行われました。

黒坂の本通りを中心に、35店が出店。金魚すくいや射的などのえんにちコーナーやキッチンカー、特別企画として、子どもたちが店長となった「家族でお店屋さん」が開店したほか、空き家を活用した店も開店するなど、黒坂のまちなかが大いににぎわいました。

また、旧黒坂小学校校舎では、「リノベーション Lab 祭り」も開催。食・健康・カルチャーなどをテーマに、山菜バイキングやスイーツ cafe、健康相談など、さまざまなイベントでにぎわいました。



▲黒坂本通りが多くの店でにぎわう



▲多くの人であふれたリノベーション Lab

集落支援員
だより

KODANI SIZUKA
小谷 静
担当地区：真住



5月18日、さつまいもの苗植えを行いました。今回は、長年使用されていなかった畑をお借りし、土おこしからマルチ張り、苗植えまでの作業を地域の皆様と協力して実施しました。

今後も地域の皆様と協力しながら活動を続け、収穫を通じて地域のつながりを深める機会としていきます。



委嘱状を手にする山本さん（左）

専門的な知見を生かし地域防災を強化
日野町気象防災アドバイザー委嘱状交付式

5月27日、日野町役場で、日野町気象防災アドバイザー委嘱状交付式が行われました。

このたび日野町気象防災アドバイザーに委嘱された山本寛さんは、元気象庁職員で、昨年度は気象庁の「気象防災アドバイザー活用促進事業」として、本町の職員研修や防災初動マニュアルの作成支援を行っていただきました。

今後は、全町一斉防災訓練の見直しや職員研修などを通じて、地域住民の防災力向上や職員の防災対応能力の強化を図っていきます。